

2025年度活動計画及び収支予算

地域の住民の日々の暮らし・生業に不可欠なものを、萌芽更新により供給してきた里山の広葉樹林は、エネルギー革命以降、その生活利用、生業利用は縮小し、放置された里山の広葉樹林は300万ha～400万haにもなっている。このため、老木のナラ枯れが進行し、生物多様性の維持や森林の多面的機能の発揮にも支障が出てきている。一方で、国際的な広葉樹マーケットの資源逼迫や国産広葉樹の利用拡大の動きにより、里山の広葉樹林資源が見直され始めており、林野庁も国産広葉樹利活用推進チームを起ち上げて、里山の再生と国産広葉樹の利用拡大に本格的に取り組んでいる。このような動きを受けて、2025年度の研究テーマは、「広葉樹林業の新時代」ということで、以下のことに取り組む。

1. 定例研究会 2ヶ月に1回程度開催
2. 共同取材 年間テーマに基づいて年2回実施
3. 会報の発行 林政ジャーナルを年2回発行
4. 幹事会 月1回開催（原則として毎月第2水曜日）
5. ホームページによる情報発信
6. 収支予算

2025 年度収支予算

2025 年度(2025 年4月～2026 年3月)の収支予算

(単位:円)

項目				前年度予算	本年度予算	備考
収入	前期繰越金			2,560,015	2, 208, 484	
	1	会費 個人会員	当年度会費	371,000	371,000	7,000×53人
		会費 団体会員	当年度会費	360,000	340,000	20,000×17 団体
		会費収入合計		731,000	711,000	
	2	雑収入		10,000	10,000	
	当期収入合計		741,000	721, 000		
	合計		3,301,015	2,929, 484		
支出	1	研究会費	講師謝礼	120,000	120, 000	講師4名
			会場費	40,000	40, 000	研究会4回
			小計	160,000	160, 000	
	2	共同取材費		100,000	200, 000	
	3	会報発行費		300,000	300,000	
	4	会議費	総会費	50,000	50, 000	
			幹事会費	10,000	10, 000	
			小計	60,000	60, 000	
	5	事務局費	通信費	50,000	80,000	
			広報・印刷費	100,000	100, 000	HP 維持費他
			事務用品費	10,000	10, 000	
			交際費	30,000	20,000	
			資料購入費	20,000	20,000	
			小計	210,000	230,000	
	6	雑費		20,000	20, 000	
	7	予備費		10,000	10, 000	
当期支出合計		860,000	980, 000			
当期収支差額			△119, 000	△259, 000		
次期繰越額			2,441,015	1, 949, 484		